

2017年1月25日 全6頁

Indicators Update

12月貿易統計

輸出金額が15ヶ月ぶりに前年を上回る

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 岡本 佳佑
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2016年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+5.4%と、15ヶ月ぶりに前年を上回り、事前コンセンサス（同+1.1%）も上回った。前年比で見た輸出数量がプラス幅を拡大したに加え、輸出価格のマイナス幅が前月から大幅に縮小したことが12月の輸出金額を押し上げた。輸入金額は同▲2.6%と24ヶ月連続で前年を下回った。この結果、貿易収支は6,414億円と4ヶ月連続の黒字となった。
- 季節調整値で見た輸出金額は前月比+1.8%と5ヶ月連続の増加、輸出数量は同▲0.7%（季節調整値は大和総研による）と4ヶ月ぶりの減少となった。米国向けが同▲2.0%、EU向けが同▲3.8%と、いずれも4ヶ月ぶりの減少、アジア向けは同+3.6%と3ヶ月連続の増加となった。品目別では、米国向けではICや音響機器の数量が減少し、このところ増加基調にあった乗用車についてはその増勢が一服した。アジア向けでは乗用車やバス・トラックといった輸送用機器、ICの輸出数量が堅調を維持している。
- 先行きの輸出について、海外経済が底堅い成長を続けるなか、緩やかな増加基調が続くとの見方に変わりはない。ただし、トランプ米大統領は就任直後に、TPPからの離脱の決定やNAFTAの再交渉・脱退を表明した点には注意が必要だ。米国経済が極端な保護貿易主義に転じれば、世界の貿易を停滞させる可能性があり、長期的なリスク要因になると考えられる。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2016年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
輸出金額	▲10.1	▲11.3	▲7.4	▲14.0	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	
コンセンサス									1.1	
DIR予想									▲0.5	
輸入金額	▲23.3	▲13.7	▲18.7	▲24.6	▲17.2	▲16.2	▲16.4	▲8.8	▲2.6	
輸出数量	▲4.6	▲2.4	3.1	▲2.4	0.9	4.7	▲1.4	7.4	8.4	
価格	▲5.7	▲9.1	▲10.1	▲11.9	▲10.3	▲11.1	▲9.0	▲7.3	▲2.7	
輸入数量	▲7.5	3.6	0.4	▲4.0	3.8	▲1.5	▲2.5	3.6	3.6	
価格	▲17.0	▲16.7	▲19.1	▲21.5	▲20.2	▲14.9	▲14.3	▲12.0	▲6.0	
貿易収支	8,207	▲429	6,907	5,104	▲229	4,932	4,916	1,508	6,414	

（注1）貿易収支は億円。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出価格のマイナス幅が大幅縮小。輸出金額は15ヶ月ぶりに前年同月を上回る

2016年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+5.4%と、15ヶ月ぶりに前年を上回り、事前コンセンサス(同+1.1%)も上回った。前年比で見た輸出数量がプラス幅を拡大(11月:同+7.4%→12月:同+8.4%)したことに加え、輸出価格のマイナス幅が前月から大幅に縮小(11月:同▲7.3%→12月:同▲2.7%)したことが12月の輸出金額を押し上げた。輸出数量は拡大基調にあり、12月の結果はポジティブに捉えられよう。

一方、輸入金額は前年比▲2.6%と24ヶ月連続で前年を下回った。この結果、貿易収支は6,414億円と4ヶ月連続の黒字となった。

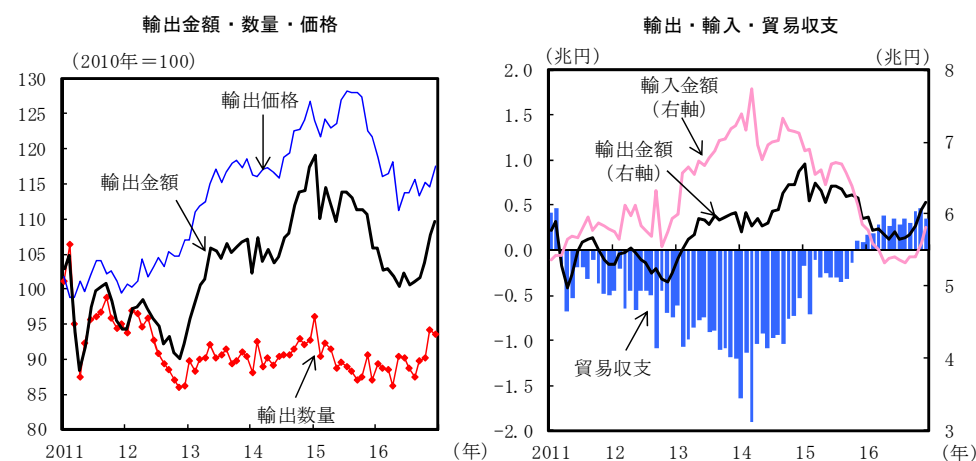
11月中旬以降、対ドル為替相場は円安方向に推移したが、12月の税関長公示レートは113.31円/ドルと前年比7.6%の円高にとどまった。前年同月の税関長公示レートが122.63円/ドルと、足下の水準よりも円安であったことが理由である。しかし、2016年に入ると急速に円高・ドル安が進行したことから、足下の為替相場が継続すれば、2017年の春ごろには為替水準が輸出価格の押し上げに寄与し始める可能性があるだろう。

米国・EU向けの輸出数量は4ヶ月ぶりに減少。アジア向けは堅調地合いが続く

季節調整値で見た輸出金額は前月比+1.8%と5ヶ月連続の増加、輸出数量は同▲0.7%(季節調整値は大和総研による)と4ヶ月ぶりの減少となった。

輸出数量を地域別に見ると、米国向けが前月比▲2.0%、EU向けが同▲3.8%と、いずれも4ヶ月ぶりの減少、アジア向けは同+3.6%と3ヶ月連続の増加となった。輸出数量を品目別に見ると、米国向けではICや音響機器の数量が減少し、このところ増加基調にあった乗用車についてはその増勢が一服した。EU向けでは音響機器や二輪自動車の輸出数量が大きく減少したが、前月に大きく増加した反動の影響があったとみられる。一方で、欧州経済の持ち直しを背景に、乗用車や自動車部品などはこのところ堅調に推移している。また、アジア向けでは乗用車やバス・トラックといった輸送用機器、ICの輸出数量が堅調を維持している。他方で、引き続き鉄鋼や非鉄金属など原料品の輸出は冴えない。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸入金額は前年割れが続くが、円安の影響で輸入価格のマイナス幅は大幅に縮小

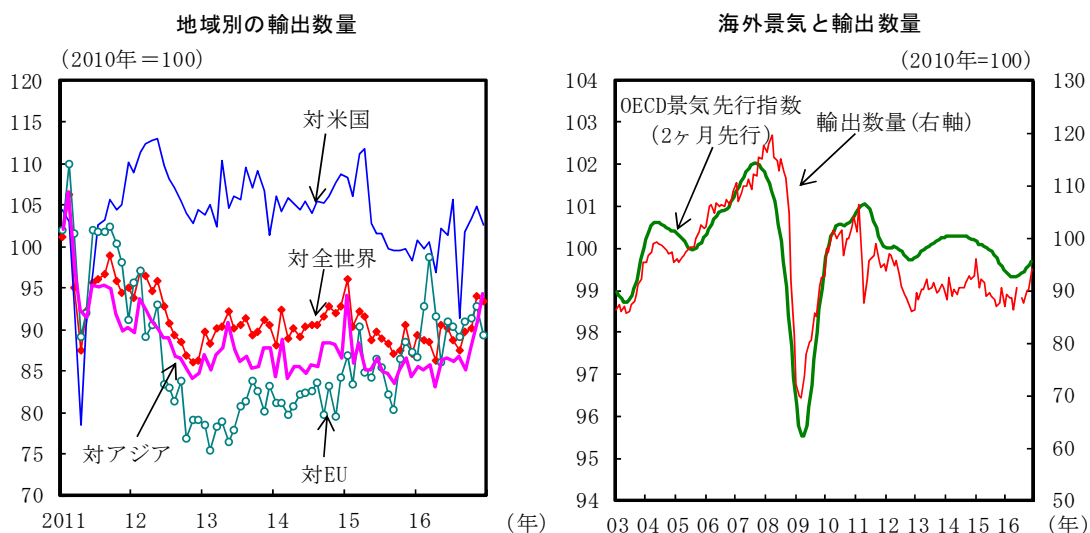
輸入金額を価格要因と数量要因とに分けてみると、輸入価格は前年比▲6.0%（11月：同▲12.0%）、輸入数量は同+3.6%（11月：同+3.6%）であった。11月中旬以降、円安・ドル高が進行したことで輸入価格のマイナス幅が大きく縮小したことが、輸入金額のマイナス幅縮小に寄与した。

先行きは緩やかな増加基調が続くと見込むが、トランプリスクに注意したい

先行きの輸出について、海外経済が底堅い成長を続けるなか、緩やかな増加基調が続くとの見方に変わりはない。米国向け輸出については、米国内の雇用環境の改善等を背景として、消費財等の輸出が底堅く推移するとみられる。米国では1月20日にトランプ大統領が就任した。減税などにより、先行きの米国経済の成長率は高まりやすいとみられ、米国向け輸出の押し上げが期待できよう。ECBによる量的緩和の効果等から欧州経済は持ち直している。先行きの欧州向け輸出については消費財を中心として、均してみれば回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、米国を中心とした先進国の経済・金融動向によって、上下双方のリスクが考えられるものの、景気は底を打ったとみられる。資本財の輸出については引き続き慎重に見ているが、消費財等の需要については、当面は回復が見込まれる。

ただし、トランプ大統領は就任直後に、TPPからの離脱の決定やNAFTAの再交渉・脱退を表明した点には注意が必要だ。米国経済が極端な保護貿易主義に転じれば、世界の貿易を停滞させる可能性があり、長期的なリスク要因になると考えられる。特に、トランプ大統領が日本の自動車貿易について「不公平だ」と主張している点が危惧される。仮に日米貿易摩擦問題が表面化するようなこととなれば、日本の輸出産業は打撃を受ける可能性がある。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



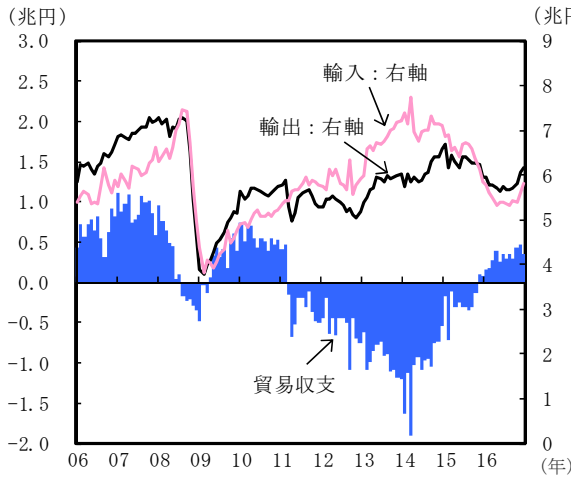
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

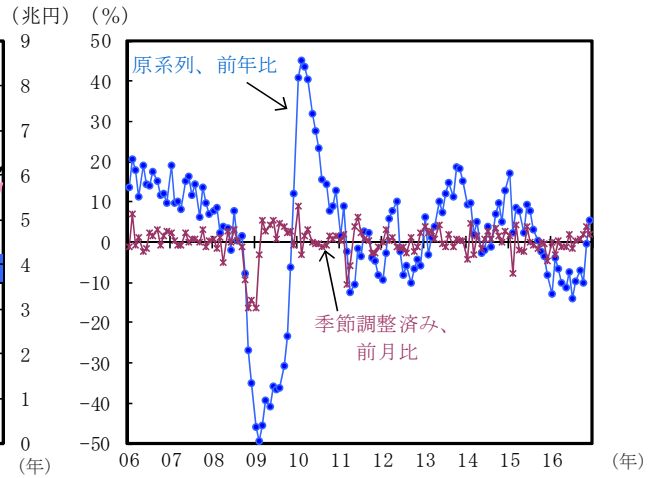
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

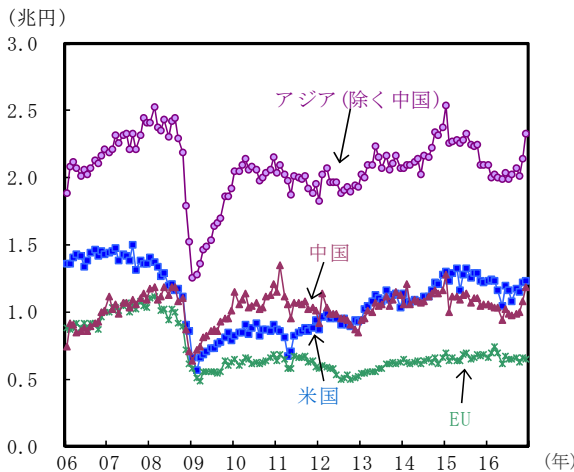


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

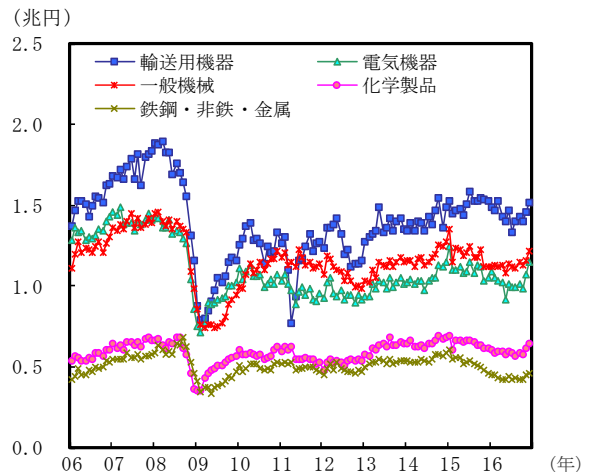


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

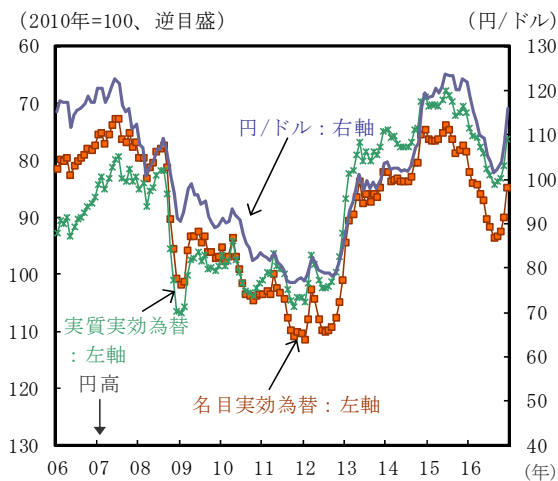


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

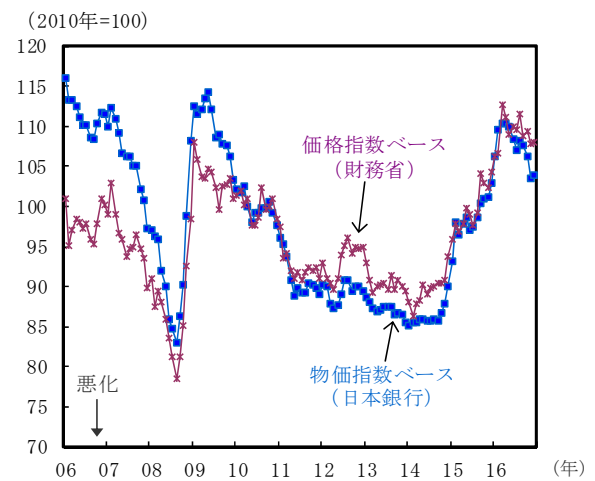


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲14.0	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	100.0	5.4
食料品	▲3.4	▲6.9	7.6	▲3.8	3.4	5.2	1.0	0.1
原料品	▲24.4	▲23.3	▲19.6	▲25.2	▲2.4	12.6	1.5	0.2
鉱物性燃料	▲40.6	▲26.9	▲34.0	▲33.2	▲19.6	17.8	1.2	0.2
化学製品	▲11.7	▲12.2	▲7.2	▲9.5	0.5	4.0	10.3	0.4
原料別製品	▲19.3	▲17.0	▲13.3	▲15.2	▲6.4	▲1.1	11.0	▲0.1
鉄鋼	▲21.7	▲20.4	▲20.9	▲19.3	▲12.1	▲4.8	3.9	▲0.2
非鉄金属	▲20.5	▲19.8	▲12.8	▲8.4	5.8	13.3	1.7	0.2
金属製品	▲18.7	▲8.1	▲6.4	▲14.0	▲1.9	▲0.6	1.6	▲0.0
一般機械	▲9.7	▲6.1	▲2.1	▲7.9	2.9	8.9	19.9	1.7
電気機器	▲13.4	▲8.5	▲9.9	▲10.9	3.2	9.2	18.0	1.6
半導体等電子部品	▲11.4	▲12.3	▲11.8	▲7.1	6.5	14.9	5.2	0.7
I C	▲11.7	▲13.2	▲13.7	▲5.9	10.0	22.5	3.6	0.7
映像記録・再生機器	▲35.4	4.1	▲8.5	▲18.6	▲3.2	21.1	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	▲25.0	▲16.3	▲26.1	▲20.8	▲2.0	27.1	0.5	0.1
電気回路等の機器	▲9.3	▲1.0	5.8	0.1	9.6	17.9	2.7	0.4
輸送用機器	▲15.4	▲8.4	▲6.0	▲9.0	▲4.6	▲0.6	23.5	▲0.1
自動車	▲11.5	▲9.4	▲7.2	▲11.3	▲8.5	▲4.7	15.8	▲0.8
自動車の部分品	▲9.2	0.1	2.9	▲0.9	10.4	16.5	5.4	0.8
その他	▲10.8	▲4.8	▲1.0	▲7.2	5.4	11.7	13.5	1.5
科学光学機器	▲18.7	▲15.8	▲9.7	▲11.8	▲6.6	2.7	3.1	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.8	▲14.5	▲8.7	▲11.2	▲1.8	1.3	100.0	1.3
食料品	3.1	▲9.5	▲0.5	▲9.0	6.4	5.4	0.6	0.0
原料品	▲31.6	▲41.9	▲44.6	▲35.5	▲24.4	8.0	0.4	0.0
鉱物性燃料	▲51.4	9.2	10.0	22.7	46.6	155.4	0.2	0.1
化学製品	▲14.6	▲12.9	▲20.8	▲13.4	▲12.4	▲1.3	5.9	▲0.1
原料別製品	▲11.6	▲22.0	▲12.7	▲23.3	▲12.1	▲8.9	6.1	▲0.6
鉄鋼	8.4	▲33.8	▲23.1	▲40.2	▲36.6	▲27.3	1.3	▲0.5
非鉄金属	▲14.8	▲12.4	▲8.5	▲8.5	1.0	8.1	0.5	0.0
金属製品	▲14.5	▲15.7	▲7.4	▲10.5	7.4	8.0	1.7	0.1
一般機械	▲10.6	▲16.3	▲5.9	▲11.6	▲5.2	▲2.0	20.8	▲0.4
電気機器	▲15.0	▲13.0	▲15.3	▲11.1	▲2.2	▲1.0	13.6	▲0.1
半導体等電子部品	▲22.7	▲13.3	▲22.4	▲16.4	▲12.5	▲12.6	1.6	▲0.2
I C	▲24.9	▲13.3	▲20.8	▲15.4	▲2.7	▲6.9	0.8	▲0.1
映像記録・再生機器	▲32.0	▲7.7	▲25.9	▲27.0	▲21.8	28.3	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲3.0	▲41.0	5.5	15.4	▲3.3	27.5	0.2	0.1
電気回路等の機器	▲10.7	▲2.2	1.7	▲0.5	2.5	▲1.6	1.4	▲0.0
輸送用機器	▲10.8	▲11.7	▲6.4	▲6.1	6.1	7.7	43.7	3.2
自動車	▲9.9	▲11.4	▲7.3	▲2.7	10.0	9.7	34.3	3.1
自動車の部分品	▲4.7	▲5.8	10.6	▲9.2	9.4	22.8	6.7	1.3
その他	▲9.8	▲17.0	▲3.5	▲21.4	▲16.1	▲7.7	8.7	▲0.7
科学光学機器	▲8.8	▲18.7	▲11.2	▲15.0	▲12.9	9.3	2.0	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.5	▲0.7	0.7	▲9.5	▲2.2	▲4.0	100.0	▲4.0
食料品	▲1.3	▲16.1	7.0	▲4.2	▲29.0	6.8	0.5	0.0
原料品	4.1	▲11.0	0.6	▲34.3	▲2.6	▲8.2	1.0	▲0.1
鉱物性燃料	▲70.2	▲8.5	24.1	▲51.9	379.4	15.8	0.3	0.0
化学製品	▲8.3	▲16.7	▲6.9	▲12.8	▲6.5	▲8.6	8.1	▲0.7
原料別製品	▲23.5	▲7.5	▲15.1	▲20.1	▲25.2	▲17.5	6.5	▲1.3
鉄鋼	▲54.4	14.3	▲42.7	▲44.8	▲67.0	▲57.4	0.8	▲1.0
非鉄金属	▲29.5	▲21.3	▲17.4	▲21.2	▲24.8	▲16.7	0.6	▲0.1
金属製品	▲7.6	▲0.7	▲9.3	▲10.0	▲18.1	▲5.5	1.5	▲0.1
一般機械	▲12.7	▲7.7	▲7.4	▲15.4	▲9.0	8.4	25.1	1.9
電気機器	▲13.0	▲8.4	▲4.4	▲16.1	▲2.2	▲4.4	18.1	▲0.8
半導体等電子部品	▲5.6	▲15.1	▲1.5	▲14.0	▲8.2	▲3.0	2.3	▲0.1
I C	▲13.2	▲12.5	▲5.1	▲17.0	▲14.0	7.5	1.3	0.1
映像記録・再生機器	▲19.8	▲9.6	▲7.5	▲34.5	▲21.6	▲0.1	0.8	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲31.8	▲1.1	▲34.7	▲20.5	12.1	▲47.9	0.3	▲0.2
電気回路等の機器	▲8.9	▲11.9	▲0.3	▲8.7	▲6.9	▲7.4	1.7	▲0.1
輸送用機器	▲5.2	15.0	2.8	2.2	2.6	▲7.0	28.6	▲2.1
自動車	▲8.3	12.7	3.4	▲6.2	▲13.8	▲18.2	17.0	▲3.6
自動車の部分品	1.9	8.9	11.7	▲0.4	10.2	11.3	7.0	0.7
その他	23.4	12.7	30.7	▲0.9	13.3	▲7.3	11.8	▲0.9
科学光学機器	▲10.7	▲17.3	▲10.0	▲11.1	▲6.3	▲6.4	2.9	▲0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲13.8	▲9.4	▲8.4	▲9.9	3.4	12.0	100.0	12.0
食料品	▲2.8	▲3.8	13.7	▲0.8	5.3	3.3	1.4	0.0
原料品	▲25.4	▲20.0	▲16.9	▲22.3	1.4	20.8	2.2	0.4
鉱物性燃料	▲43.9	▲22.9	▲35.7	▲42.7	▲41.7	10.8	1.6	0.2
化学製品	▲10.7	▲11.6	▲4.6	▲7.8	4.1	7.3	13.9	1.1
原料別製品	▲17.9	▲15.3	▲12.7	▲12.9	▲2.2	2.0	13.2	0.3
鉄鋼	▲20.6	▲17.6	▲19.9	▲17.0	▲6.5	0.5	5.1	0.0
非鉄金属	▲19.8	▲20.5	▲12.6	▲7.6	7.4	15.4	2.6	0.4
金属製品	▲20.5	▲3.9	▲5.5	▲14.5	0.7	▲4.2	1.7	▲0.1
一般機械	▲8.0	▲1.7	2.0	▲3.5	8.0	17.1	19.8	3.2
電気機器	▲12.9	▲7.8	▲9.3	▲10.2	5.2	15.8	22.0	3.4
半導体等電子部品	▲10.9	▲12.2	▲11.6	▲5.8	9.5	19.2	8.3	1.5
I C	▲10.8	▲13.2	▲13.7	▲4.8	12.3	25.4	5.9	1.3
映像記録・再生機器	▲41.3	29.3	6.0	▲2.7	16.2	27.3	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	▲24.3	▲25.0	▲18.9	▲20.3	▲3.7	60.0	0.7	0.3
電気回路等の機器	▲7.8	1.3	10.6	2.0	14.7	25.7	3.7	0.8
輸送用機器	▲7.9	▲6.2	▲14.3	▲9.9	5.8	11.8	9.5	1.1
自動車	▲15.6	▲12.1	▲9.2	▲16.0	▲4.9	1.2	4.1	0.1
自動車の部分品	▲5.8	3.9	3.9	5.6	13.9	17.4	4.1	0.7
その他	▲19.6	▲11.6	▲10.4	▲11.0	4.2	14.3	16.5	2.3
科学光学機器	▲21.7	▲15.1	▲9.6	▲11.7	▲6.1	3.1	4.1	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2016/07	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲12.7	▲8.8	▲10.6	▲9.2	4.4	12.5	100.0	12.5
食料品	25.5	47.6	43.7	33.5	28.1	11.9	0.6	0.1
原料品	▲24.3	▲21.1	▲23.3	▲25.0	7.1	30.6	3.3	0.9
鉱物性燃料	▲30.0	48.6	28.8	▲7.2	4.8	101.5	1.2	0.7
化学製品	▲9.0	▲15.2	▲9.8	▲5.2	9.2	13.5	15.1	2.0
原料別製品	▲16.1	▲15.4	▲7.5	▲12.6	2.9	6.7	11.7	0.8
鉄鋼	▲11.8	▲15.7	▲11.7	▲20.1	▲7.9	2.8	3.3	0.1
非鉄金属	▲30.8	▲24.4	▲16.9	▲5.4	23.6	37.3	2.5	0.8
金属製品	▲18.8	▲5.4	0.0	▲13.0	5.6	▲6.1	1.8	▲0.1
一般機械	▲6.6	▲7.1	▲7.4	▲6.4	14.8	13.8	20.4	2.8
電気機器	▲13.0	▲2.0	▲13.7	▲14.6	1.1	15.5	22.9	3.5
半導体等電子部品	▲1.8	▲5.6	▲16.5	▲5.9	▲1.4	10.1	6.8	0.7
I C	1.5	▲4.9	▲21.2	▲6.5	▲4.7	10.1	4.8	0.5
映像記録・再生機器	▲45.1	182.8	10.5	▲4.8	48.8	45.8	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲32.2	▲35.5	▲33.0	▲31.9	▲14.5	49.3	1.2	0.4
電気回路等の機器	▲6.1	5.9	20.6	6.1	30.5	38.1	4.1	1.3
輸送用機器	▲7.6	▲0.5	▲1.7	0.7	13.5	22.3	10.5	2.1
自動車	▲5.6	▲4.6	▲15.9	▲11.4	4.7	6.7	4.0	0.3
自動車の部分品	▲7.2	4.4	14.1	13.4	23.1	38.2	6.3	1.9
その他	▲21.6	▲15.5	▲17.5	▲9.5	▲12.5	▲2.3	14.3	▲0.4
科学光学機器	▲27.6	▲20.3	▲14.7	▲11.2	▲12.7	▲0.9	6.4	▲0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成